

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方(もしくは代理人の方)にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	相同組み換え修復異常を認めない卵巣癌における PI3K/AKT 経路と CRY1 の関連に関する検討		
1. 研究の目的と方法	本研究の目的は卵巣癌の一部で活性化を認めるシグナル伝達経路のPI3K/AKT経路の活性化とCRY1タンパクの発現の関連を検証することです。 卵巣癌患者さんの手術検体で検査に使用せずに余っている部分を用いて目的としているタンパク質の染色を行います。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2025年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	卵巣癌の患者さんで、2020年4月1日～2023年3月31日の間に東京慈恵会医科大学付属病院で手術を受け、手術後にmychoice検査(卵巣癌の治療方針を決定するための検査)を受け、結果が陰性であった18歳以上の方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	手術で摘出した腫瘍検体	
	(2) 試料の取得の方法	手術の時に切除した組織の一部をいただきます。	
	(3) 情報の種類	診断名、年齢、進行期、mychoice検査結果	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(2)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の研究責任者 または 研究代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 産婦人科講座
		氏名	飯田 泰志
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
(4) 共同で研究を実施する 機関とその責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究で収集・取得された試料は患者さんのお名前やカルテ番号などの個人情報情報を削除し、新たに研究用のIDや番号をつけてから、株式会社モルフォテクノロジーに以下の方法で送られ、詳しく解析されます。 提供方法：追跡可能な方法で郵送 試料・情報の利用または提供開始予定日：2023年9月上旬～		
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 産婦人科講座 研究責任者：飯田 泰志(いいだ やすし) 電話番号：03-3433-1111(内線 3521) 対応時間：平日 9:00 ～ 17:00		

利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。

研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。